

受賞おめでとうございます

- 東京都赤十字奉仕団功労者表彰 (敬称略)
- ◇金色有功章(20年以上)
 - 大塚由紀子 福原 美子 平林 宏一
 - 鈴木 英明 齋藤 蓉子
 - ◇銀色有功章(15年以上)
 - 三沢清太郎 鈴木 尚子 吉田 和生
 - ◇金柁支部長感謝状(10年以上)
 - 宏林 静憲 谷村 啓 小松 榮子
 - ◇銀柁支部長感謝状(5年以上)
 - 千場 弘之 小須田 修 大野美智子
 - 大塚 純子 小林千絵美
- 大田区青少年対策地区委員会永年功労者表彰
金子 竜之 喜井 美沙 渡部 裕作
厚生労働大臣特別表彰
高見 淑恵

第76回大田区民スポーツ大会(夏季)ポッチャ大会

令和5年7月23日(日)大森スポーツセンターにて第76回区民スポーツ大会(夏季)ポッチャ大会が開催され新井宿長生会より3チーム出場しました。老若男女を含んだ全14チームからリーグ戦を勝ち上がり、新井宿長生会Aチームが見事に3位入賞。東京パラリンピック後にポッチャを広めたいとの思いから会を立ち上げ、発足2年目で入賞に至りました。楽しみながらの練習の結果と会員は喜んでます。健康と笑いをモットーに「それ!行け!頑張ろ~!」



4年ぶりの夏祭り ~広げよう地域の輪!~

去る7月29日(土)、4年ぶりに開催された「大田文化の森夏祭り」は多くの人で賑わい楽しい一日となりました。夕方6時から、広場で盆踊りが始まり、定番の曲に加えられたのは、新曲「わがまち新井宿音頭」です。荒木真弓さん振り付け指導のもと、大人から子供たちまで踊りの輪は二重三重と広がりました。



編集後記

今号では「見守りキーホルダー」の特集を組みました。「まだ必要ない」「もう少し先に…」と考えている方、それは今です。実は私もその一人でした。でも日常生活の中で何が起きるか分からない昨今に大きな安心になるのではないのでしょうか。先日、よく行くスーパーの前で一人のご婦人が倒れ救急搬送されました。こんな時「見守りキーホルダー」を身につけていればかかりつけ医や日頃通っている病院等がすみやかに判明し治療を受けることが出来ます。この機会に私も作ることにしました。そして2、3ページ目は新井宿の今と昔を比べた写真を掲載しました。皆さん、それぞれの思い出の場所があるのでは!どうぞ懐かしく回想してみてくださいは如何でしょうか。(松木編集委員)

新井宿特別出張所管内の世帯と人口 令和5年10月1日現在

- 世帯数…11,869世帯 前年同月比+277世帯
- 総人口…21,955人 前年同月比+235人(男+113人 女+112人)
- (男…10,896人 女…11,059人)

地域活動の体験談④



第4回は、山王三・四丁目自治会の鈴木祥子さんです。

山王3・4丁目自治会でお料理教室を始めたのは2018年の夏、まだ町会のお手伝いを始めて半年程度のことです。新しい薬師堂会館の大きなキッチン、広い作業スペースで、是非お料理教室を開催したいとお伝えしました。お試しの1回目は役員の皆様に召し上がっていただき、次はいよいよ本番。ご案内のちらしを作り、八口ウィン向けのお料理での開催に沢山のお子様が集まったことが、今でも鮮明に記憶されています。以降現在では、2ヶ月に一度の日曜日に開催出来ることに大変感謝しております。

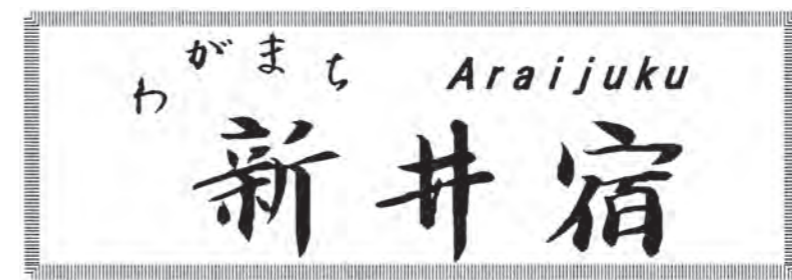
一般のお料理教室と異なることは、地域開催であるということです。災害時など、地域に少しでもお顔見知りの方がいらっしゃれば心強いのではないかと思います。ですから、お料理の勉強が第一ではなく、どこかで会ったら話してできるような仲間を作る場になればいいなあと考えておりますので、普段お料理をしない方も、無理かななどと心配なさらずご参加ください。見学して召し上がるだけでも構いません。

とても楽しい会で、中にはレシピの分量を大幅に間違えたりするハプニングもありますが、最後はきれいに出来上がったテーブルを囲んで「わあー、美味しそう!」「今日も楽しかった」そんなお声が聞けて、ほっと安心しています。



- 発行 地域力推進新井宿地区委員会
編集 「わがまち新井宿」編集委員会
- | | | |
|------------|--------|--------|
| 中央一丁目町会 | 編集委員長 | 関口 直人 |
| 新井宿五丁目町会 | 編集副委員長 | 谷口 敏子 |
| 新井宿七丁目町会 | 編集副委員長 | 福田 スミ |
| 山王三丁目東自治会 | 編集委員 | 荒木 秀樹 |
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員 | 三沢 清太郎 |
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員 | 岡本 浩子 |
| 山王三・四丁目自治会 | 編集委員 | 高橋 弘樹 |
| 山王三丁目町会 | 編集委員 | 吉川 信一 |
| 山王三丁目町会 | 編集委員 | 稲田 祐命 |
| 中央一丁目町会 | 編集委員 | 形見 俊郎 |
| 中央四丁目町会 | 編集委員 | 佐々木 泰子 |
| 新井宿五丁目町会 | 編集委員 | 加藤 弘子 |
| 新井宿六丁目町会 | 編集委員 | 松木 紀子 |
| 新井宿六丁目町会 | 編集委員 | 笹井 美佐 |

……共同編集……
監修 新井宿自治会連合会
事務局 大田区新井宿特別出張所
大田区中央1-21-6 ☎3776-5391
<https://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>



「きょうりゅうの世界」
入四小三年
後藤權陽さんの作品
(水彩画)

大田区発祥の「見守りキーホルダー」、全国へ!

平成21年に大田区で取り組みが始まった「見守りキーホルダー」は今、全国で注目されているそうです。現在、大田区の登録者は約36,000人、都内では11区と6市、全国では約40の自治体で導入されています。大田区の65歳以上の高齢者は約167,000人、65歳以上のひとり暮らしの世帯は約43,000世帯です。この新井宿地区だけでも、毎年10件近くの活用実績があります。

高齢者が登録番号入りのキーホルダーを身につけることで、自宅や外出先などで倒れてしまったとき医療機関や警察からの照会に対し、24時間迅速に対応し情報提供することができます。もしもの時にそなえて「見守りキーホルダー」に登録しましょう!身につけておくことで安心してお出かけができます!



(表)



(裏)

対象者
65歳以上
大田区民の方

料金
無料
その場でお渡し

申請場所
管轄の地域包括
支援センター

キーホルダーの他にも…
カードタイプ、シールタイプ、アイロンシールタイプから、ご希望により複数お選びいただけます。

「見守りキーホルダー」
令和5年6月25日号の朝日
新聞に掲載されたぴよん



©大田区

大森地区の地域包括支援センター

地域包括支援センター	電話	お住まいの住所 (新井宿自治会連合会該当部分のみ)
大森 (大森西 2-16-2)	03-5753-6331	大森西 1、4丁目
入新井 (大森北 3-24-27)	03-3762-4689	大森北 5丁目
南馬込 (南馬込 3-13-12)	03-6429-7651	南馬込 3~4丁目
徳持 (池上 7-10-5)	03-5748-7202	中央 7丁目
新井宿 (中央 1-21-6)	03-3772-2415	山王 3~4丁目・中央 1~4丁目

※お住まいの住所によって管轄が異なります。
ご来所いただく前に、ホームページやお電話等でお確かめいただくことをお勧めします。

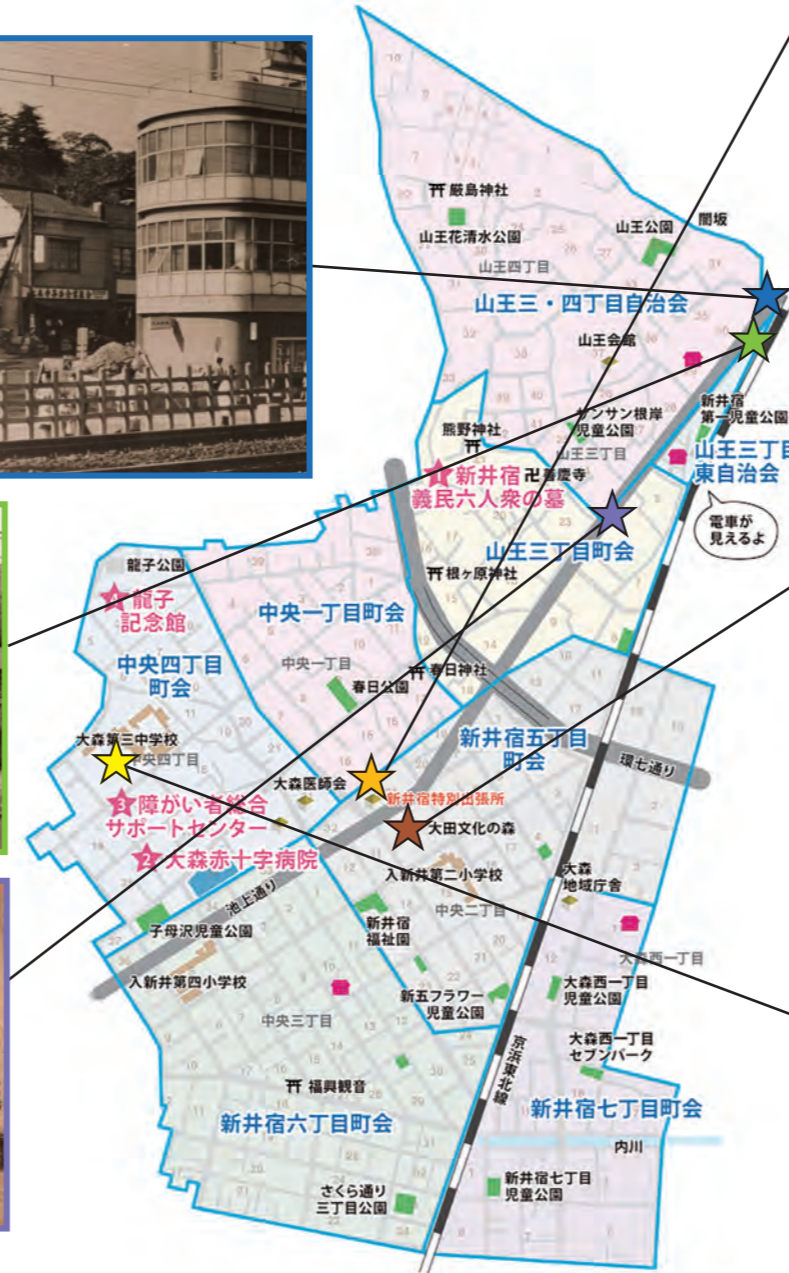


三十周年記念号特別企画 一今も昔も新井宿一

ふと振り返ると、わがまち新井宿も驚くほどに変化していると気付きます。良くも悪くも更にスピードは加速していくことでしょう。名も無き街角にも歴史が刻まれています。私達の住む街角の歴史に想いを馳せてみては如何でしょうか。2053年の近未来に六十周年記念号の編集委員をされている皆さんへ、エールを送りながら今号を編集しました。

古の遙か昔は『荒蘭宿』
遠き昔も『荒井宿』なり
それからは、ずーっとずーと『新井宿』、
今も昔も『新井宿』なり

▶撮影場所：閘坂下入口
撮影時期：昭和30年代
八景坂から閘坂へ入る入口です。真っ直ぐ上るとホテル坂だと、近くに住む方から聞きました。大正元年に望翠楼ホテル、大正11年に大森ホテルが坂上にできたからでしょう。



▲撮影場所：大森日赤方面から見た「美皿橋」(みさらばし)
撮影時期：昭和32年頃
現在の出張所の場所には陶山酒問屋があり、いつも酒瓶のケースが高く積み上げられていました。タバコの販売もしていて、当時の売り上げは大田区一だったとか。現在は暗渠となっていますが、環七の方から内川へ続く水路が流れていたのです。



▲撮影場所：大田文化の森
撮影時期：昭和47年
昭和22年に大森区と蒲田区が合併して大田区となり、大田区役所ができました。当初は木造二階建てで、入口にツバメの巣があったのを覚えています。昭和47年に五階建てのビルが完成しました。ほら、昔の信号機！青信号の時にメロディが流れる信号機の第一号はここでした。24時間テレビが取り上げ、その収録に欽ちゃん came なのです。



▶撮影場所：池上通りの柳並木
撮影時期：昭和45年頃
かつては柳並木が大森から池上まで続いていたそうです。それで池上通りを柳本通りと呼んでいた時代がありました。何か特別な日だったのでしょうか。S1が東海道線を走ったので、鉄道ファンも俄か鉄道ファンも見物に集まっています。



▲撮影場所：熊野神社の参道入口
撮影時期：不明
茅葺屋根の家は氷屋だったとか。この頃は、池上通りも道幅が狭かったようです。まだ道路も舗装されてなく、乗合馬車が走っていたかもしれません。



▲撮影場所：大森三中のクラスター校舎と体育館
撮影時期：昭和45年
クラスター校舎は昭和35年から37年に完成。空から見ると十字形の校舎でした。生徒数が2,400名のマンモス校だった時代です。現在は無くなっており、びっくりする卒業生もいることでしょう。大きな体育館だけが変わらずあります。1964年の東京オリンピックの時に、確か外国のバスケット・チームが練習していました。



夏祭りでお披露目してから大好評の「わがまち新井宿音頭」。今回はその振付けをご紹介します！



▲こちらから「わがまち新井宿音頭」を聴くことができます。

(一) (一)を繰り返す

(十) 左足を右足にそろえて
チョンチョンがチョンと
手拍子を行う

(九) 右足出し両手山開き



(八) 右足から二歩進み
両手体前でかいくくり



(七) (六)の反対動作

(六) 右足踏みをおし
左足から一歩後退
両手左に伏せ流す

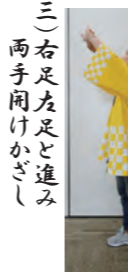


(五) (四)の反対動作

(四) 右足出し
右手立てかざし
左手右袖をはらう
左足を右足横でトン



(三) 右足左足と進み
両手開けかざし



(二) チョンチョンがチョンと
手拍子を行い踊り始める



(一) 前奏十二呼間聞く



作詞・作曲 新井 真直
振付け 関本 真直
進行方向 輪踊り
反時計回り

わがまち新井宿音頭